

【小学校・中学校・義務教育学校用】

令和5年度学校評価 計画

達成度（評価）	
A	十分達成できている
B	おおむね達成できている
C	やや不十分である
D	不十分である

<b>1 前年度 評価結果の概要</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業改善については研究発表会への取組の成果が出ている。学力向上については小中連携教育を継続し系統的に指導していくとともに、家庭学習の充実を図る取組を通して学力の向上を図っていく。また、生徒1人1台端末を活用した授業づくりを推進する。</li> <li>生徒が安心して過ごせる学校生活を旨とし、外部講師等を活用した道徳の時間の充実や生徒指導及び教育相談における取組の充実を図る。</li> <li>「早寝、早起き、朝ごはん」の取組を通して望ましい生活習慣の形成を図り、スマホ等の利用については健康面に留意した指導を継続する。</li> <li>職員の働き方に対する意識改革を進め、業務改善・教職員の働き方改革を推進することで生徒と向き合う時間を確保する。</li> <li>小規模校の特徴を生かし、地域に根ざした教育活動を展開し、保護者を含めた地域の方々の学校への参画を推進していく。</li> </ul>
----------------------	---

<b>2 学校教育目標</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>校訓 「和気、立志、報恩」</li> <li>学校教育目標 「脊振を愛し、進んで学ぶ、たくましい子どもの育成」</li> </ul>
-----------------	---

<b>3 本年度の重点目標</b>	<table border="0"> <tr> <td style="vertical-align: top;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>豊かな心の育成               <ul style="list-style-type: none"> <li>道徳教育の充実</li> <li>出番・役割・承認の温かい集団づくりの推進</li> <li>夢や目標をもつ活動の推進</li> <li>生徒会活動の充実</li> <li>脊振に学び、脊振を愛し、脊振に貢献する活動の推進</li> </ul> </li> </ul> </td> <td style="vertical-align: top;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>確かな学力の育成               <ul style="list-style-type: none"> <li>主体的に学ぶ生徒を育てる個に応じた指導の工夫</li> <li>学習環境のUD化の推進</li> <li>学びの充実のためのICT活用の推進</li> <li>小中連携教育による9年間の学びをつなぐ教育の推進</li> </ul> </li> </ul> </td> <td style="vertical-align: top;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>安心・安全な学校づくり               <ul style="list-style-type: none"> <li>生徒の居場所づくり・絆づくりの推進</li> <li>生徒理解に基づくチームでの生徒指導の充実</li> <li>さわやかな挨拶、黙読清掃、感染症対策の推進</li> <li>特別支援教育、教育相談の充実</li> </ul> </li> </ul> </td> </tr> </table>	<ul style="list-style-type: none"> <li>豊かな心の育成               <ul style="list-style-type: none"> <li>道徳教育の充実</li> <li>出番・役割・承認の温かい集団づくりの推進</li> <li>夢や目標をもつ活動の推進</li> <li>生徒会活動の充実</li> <li>脊振に学び、脊振を愛し、脊振に貢献する活動の推進</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>確かな学力の育成               <ul style="list-style-type: none"> <li>主体的に学ぶ生徒を育てる個に応じた指導の工夫</li> <li>学習環境のUD化の推進</li> <li>学びの充実のためのICT活用の推進</li> <li>小中連携教育による9年間の学びをつなぐ教育の推進</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>安心・安全な学校づくり               <ul style="list-style-type: none"> <li>生徒の居場所づくり・絆づくりの推進</li> <li>生徒理解に基づくチームでの生徒指導の充実</li> <li>さわやかな挨拶、黙読清掃、感染症対策の推進</li> <li>特別支援教育、教育相談の充実</li> </ul> </li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>豊かな心の育成               <ul style="list-style-type: none"> <li>道徳教育の充実</li> <li>出番・役割・承認の温かい集団づくりの推進</li> <li>夢や目標をもつ活動の推進</li> <li>生徒会活動の充実</li> <li>脊振に学び、脊振を愛し、脊振に貢献する活動の推進</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>確かな学力の育成               <ul style="list-style-type: none"> <li>主体的に学ぶ生徒を育てる個に応じた指導の工夫</li> <li>学習環境のUD化の推進</li> <li>学びの充実のためのICT活用の推進</li> <li>小中連携教育による9年間の学びをつなぐ教育の推進</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>安心・安全な学校づくり               <ul style="list-style-type: none"> <li>生徒の居場所づくり・絆づくりの推進</li> <li>生徒理解に基づくチームでの生徒指導の充実</li> <li>さわやかな挨拶、黙読清掃、感染症対策の推進</li> <li>特別支援教育、教育相談の充実</li> </ul> </li> </ul>		

4 重点取組内容・成果指標	中間評価	5 最終評価	
---------------	------	--------	--

(1)共通評価項目				中間評価		最終評価		学校関係者評価		主な担当者
評価項目	重点取組		具体的取組	進捗度(評価)	進捗状況と見通し	達成度(評価)	実施結果	評価	意見や提言	
	取組内容	成果指標(数値目標)								
●学力の向上	●全職員による共通理解と共通実践	●学力向上対策評価シートに示したマイプランの成果指標を達成した教師80%以上	・小中連携教育の視点で授業改善を進める。 ・教職員間で共通実践内容とその評価指標を共有し、校内研究によりマイプランの取組を促進する。							教頭
	○全教科において、学習集団や個に応じた学習活動や学習課題に取り組む機会を取り入れた授業改善	○「授業の内容がわかる」と回答する生徒80%以上	・各教科で授業づくりのステップ1・2・3を意識した授業実践を行い、思考ツール等を用いて思考力を高め、学びの習得を適切に評価することで生徒にとって分かりやすい授業を実践する。							森
●心の教育	●児童生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動	○「学校生活を楽しく過ごしている」と回答する生徒80%以上	・学校行事や生徒会活動、学級活動等が出番・役割・承認の温かい集団づくりを行い、生徒の居場所・絆づくりに努める。 ・月に1回行う生活アンケートから学校生活が楽しく過ごしているか、相談したいことがないかを確認し対応する。							山村
	●いじめの早期発見、早期対応に向けた取組の充実	○いじめ防止等(いじめの定義、いじめの防止等のための取組、事案対処等)について組織的対応ができていると回答した教員80%以上 ○学校内に悩みを話せる先生がいる」と回答する生徒80%以上	・毎週1回の生徒指導連絡会で情報交換を行い、問題の早期発見、早期対応に努める。 ・教育相談の充実を図るとともにアンテナを高くして、生徒の変化に気づき、生徒に寄り添い、即時対応できる体制づくりに努める。							夏秋
	●児童生徒が夢や目標を持ち、その実現に向けて意欲的に取り組もうとするための教育活動。	●「先生はあなたのよいところを認めてくれていると思う」と回答した児童生徒80%以上 ●「将来の夢や目標を持っている」について肯定的な回答をした児童生徒80%以上 ○「わが子の夢や目標を知っている」と回答した保護者80%以上	・各種体験活動では、生徒に活動の見通しと学びの振り返りを行う活動を仕組む。 ・全ての教育活動を通して、夢や目標について自ら考えさせる時間や場面を設ける。							西川
●健康・体づくり	次の中から1つ以上を選択 ②「望ましい生活習慣の形成」	●「早寝、早起き、朝ごはん」ができた生徒80%以上 ○スマホ等を21時になったら保護者に預ける生徒90%以上	・「早寝、早起き、朝ごはん」を推進するために育友会と連携し、地区懇談会等で啓発活動を行うとともにアンケート調査を行い検証する。 ・スマホ所持率調査を実施し、実態把握による育友会との連携を図る。							久野、夏秋
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外在校等時間の削減	●教育委員会規則に掲げる時間外在校等時間の上限を遵守する。	・専用PCへの入力により在勤時間の自己管理を行う。 ・出勤時にその日の施錠時刻を確認し、退勤予定時刻をボードに示す。 ・部活動における部活動指導員、複数顧問制を活用し、週休日の部活動の負担軽減を図る。							教頭
(2)本年度重点的に取り組む独自評価項目				中間評価		最終評価		学校関係者評価		主な担当者
評価項目	重点取組		具体的取組	進捗度(評価)	進捗状況と見通し	達成度(評価)	実施結果	評価	意見や提言	
	取組内容	成果指標(数値目標)								
○学校・家庭・地域との連携	○小学校・家庭・地域と連携・協力した教育の推進	○学校行事等で地域の方々の学校への参画を促進する。 ○「脊振小での交流授業と児童生徒の交流活動」それぞれ年間5回以上	・総合的な学習の時間等を生かした地域を誇れる学校づくりで地域の方々の参画を推進する。							教頭、森、下西、夏秋

●・・・県共通 ○・・・学校独自 ◎・・・志を高める教育

<b>5 総合評価・次年度への展望</b>	
-----------------------	--